

歯科技工所内の除菌対策等について(COVID-19)

小笠原明弘

(日本歯科技工士会認定講師)
(アトキンス取締役会長)

まず、今年1月13日の時点で何かが、起こっている普通じゃないというものはSNS情報で、これを感じ除菌液「バイオサン二タイマー」に注目しメーカーの方にお聞きした。

また新型のコロナウイルスということで、できる限りの情報を集めてみた。その日のうちに「バイオサン二タイマー」がなぜ「SHOFU」という歯科メーカーが販売しているのか、そして歯

科技工所にどつても、重要な意味を持つことが理解でき、発注したのがよかつたが、その後には欠品した。宣伝ではなく一人でもこの性質の意味を理解していた

だければと思いつ稿する。

同除菌液は、強力な殺菌力があり、約5分くらいで

乾燥後、長時間持続するバリアを形成し、やがて生分解される性質がある。そのためほとんど環境に害を及ぼさない。生体への毒性が少なく、ペットの消臭剤としても使われている。アルコール不使用で、毎日毎日使うわりには手荒れはしな

くなる。これはスプレー時に水槽の上に何かをかぶせ

い。口腔内に入つても副作用、毒性が低い、そのためマスク表面にしつかりスプレーすることでバリアを作ることができる。注意点は、部屋中すべての空間へのスプレー散布で対処する。こ

れで数日から1週間あらゆるものが張られる。

そこからが凄い、簡単に

言うと、散布したバイオ

空気中で3~4時間浮遊する性質があることが分

かる。もちろん、アルコール除菌、次亜塩素酸、も強力な効果がある。そのためアトキンスでは、まず、模型を

受け取った場合、玄関の外でケース、模型、印象、バ

イド、指示書などをバイオ

サン二タイマーで除菌する。

もちろん玄関にはカギがかけてあり、社内に入る人物、衣服、すべて除菌してから

ではないとは入れない。社内でのグローブ、マスクは全員当たり前である。印象のままいたいたものは、ま

で早く終業(17時)できる

全室除菌という仕事の負担が増えた。そのため、役員

は早朝出勤し除菌作業する

ことにした。そして分業化を見直し、スタッフが少

くから使用している。

ス「ラバラックD」などは古くから使用している。

もちろん、アルコール除菌された補綴物は、開

業当初より滅菌パックに密

封して光殺菌。患者さまの

口腔内にセットされる歯科

補綴物ですから、安心安全

のためには当然と考え長い間取り組んでいます。それで

も、今回のCOVID-19

は大変多くの作業工程があ

る歯科技工には、作業後の

全室除菌という仕事の負担

が増えた。そのため、役員

が見直す。そのため、分業化

を見直す。そして分業化

することになった。そして分業化

を見直す。そのため、役員

が見直す。そのため、分業化

を見直す。そのため、役員

が見直す。そのため、分業化